

主体的に学ぶ学習活動の工夫を取り入れた音楽科学習指導案

日 時 平成 21 年 10 月 29 日 (木) 5 校時
学 級 3 年 5 組 男子 16 名 女子 18 名 計 34 名
授業者 藤澤 愛

1 題材名

「バレエ音楽の魅力」

2 題材について

(1) 教材について

教材曲 チャイコフスキー作曲 バレエ音楽『くるみ割り人形』より

- ① トレパーク (ロシアの踊り)
- ② コーヒー (アラビアの踊り)

出典：CD (ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団 指揮：ウラディミール・アシュケナージ)
DVD (英国ロイヤル・バレエ団 コヴェント・ガーデン王立歌劇場管弦楽団
指揮：エフゲニー・スヴェトラノフ)

本題材は学習指導要領音楽科 B 鑑賞ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠を持って批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」から設定する。

また、共通事項のア「音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること」のうち次のことについて焦点化を図って設定する。

・ 音色、速度、強弱

新学習指導要領では、鑑賞の活動において、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聞き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうことがねらいとされている。

『くるみ割り人形』はバレエ音楽の一つであり、オーケストラによる伴奏と踊りとが一体となった総合芸術である。

しかし、バレエ音楽には鑑賞する手がかりとしての「歌詞」がなく、内容を頭の中でイメージしながらその情景を味わうという特徴をもつ音楽でもあると考える。

従って、生徒がその音楽を聴いて知覚・感受し、要素と曲想とのかかわりを感じ取って鑑賞したことと、振付けられた踊りから感じる印象とを重ね合わせて、より深く鑑賞する教材である。

特に、『くるみ割り人形』の場合には、物語性が強いことから、初めてバレエに触れる生徒にとって、親しみやすい作品である。さらに、踊りも舞台装置も具体的であり、音楽を聴いて想像した情景と踊りとを結び付けやすいと思われる。

教材曲の2曲は、音色や速度、強弱の違いがはっきりしており、比較聴取しやすいこと、それぞれの踊りが、独立した楽曲として成立していて短い。よって初めてバレエに触れる生徒にとっても聴き取ったり、感じ取ったり、鑑賞したりするのに容易であると考えられる。

教材として選択した『くるみ割り人形』は前述のとおり、生徒が聴き取りやすく、感じ取りやすい。よって本題材では実際のバレエの表現を通して、生徒同士の考えを交流しあうことでバレエの魅力を感じ取るような授業を展開したい。

(2) 生徒について

事前調査を行った結果を見ると、バレエ音楽という言葉を知っている生徒は34人中10名程度、どのような音楽という質問に対しては『白鳥の湖』などの曲名や、特徴のある舞台衣装を身にまとして音楽に合わせて踊る音楽という回答が数名に見られる程度であった。鑑賞したことがある生徒はおらず、本題材で初めてバレエ音楽にふれる生徒が多いと思われる。

また、生徒はこれまでオーケストラの音楽については何度か鑑賞しているので、その学習経験をいかして、オーケストラの楽器の音色や楽器の組み合わせの魅力についても、さらに感じ取らせたい。

(3) 指導・支援について

指導にあたっては、次のような内容でバレエの魅力に迫りたい。

まず、映像なしで2曲を比較鑑賞し、それぞれの楽曲の特徴的な要素を知覚・感受し、曲想をとらえ、要素と感じた内容を記録する。

次にとらえた曲想と特徴的な要素とが、踊りにどのように反映されているかを、バレエの映像をもとに確認する。同時に最初に聴いた時には気づかなかったことがあれば記録し、発表しあう。もう一度音楽だけを聴いて、特徴的な要素と曲想とがどのように関連しあっているか考える。

最後に、同じ楽曲が別の振り付けをされている映像を鑑賞し、自分たちが聴き取った情景が踊りにどのように反映されているかを話し合うことによって、総合芸術としてのバレエの魅力やバレエ音楽の魅力について批評文を書く。

3 題材の目標

- (1) バレエ音楽の特性に関心を持ち意欲的に聴いている。 【音楽への関心・意欲・態度】
- (2) くるみ割り人形の諸要素と踊りを知覚感受し、その良さを感じ取る。 【音楽的な感受】
- (3) バレエ音楽の特徴である音楽の諸要素と踊りとを感じ取り、楽曲全体を味わって聴き、その良さや美しさを批評文として書き表している。 【鑑賞の能力】

4 指導計画

- ① ア 各楽曲に触れ、要素を知覚（音色、速度、強弱）し、感受（「この楽器の音色からこう感じる」「速度がゆったりしているので、のんびりした感じがする」など）させ、どのような踊り（振り付け）かを想像させる。
イ 想像した踊りと実際のバレエの映像とを比較し、自分たちが感じたこととどこが共通し、どこが違うかを話し合わせる。
ウ 『くるみ割り人形』の物語を簡単に説明し、次時の予告をする。 1時間（本時）
- ② ア 音色、速度、強弱のかかわりによって生み出される曲想の変化を意識して鑑賞させ、バレエの振り付けとも関わらせながら批評文を書かせる。
イ 同じ楽曲で別の振り付けをされている映像を鑑賞し、話し合わせる。
ウ チャイコフスキーの『白鳥の湖』の一部を鑑賞させ、バレエの魅力に迫る。 1時間

5 題材の評価規準

観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽的な感受や表現の工夫	観点4 鑑賞の能力
楽器の音色、速度、強弱と曲想との関わりに関心を持ち、意欲的、主体的に鑑賞しようとしている。	楽器の音色、速度、強弱と曲想との関わりを感じ取っている。	楽器の音色、速度、強弱と曲想との関わりを理解して聴いている。また踊りを含めたバレエ音楽の良さや美しさを批評文として書き表している。

6 本時について

(1) 目標

ア 音色、速度、強弱とバレエの振り付けの関係に関心を持ち、意欲的に鑑賞している。
【音楽への関心・意欲・態度】

イ 音色、速度、強弱と曲想とのかかわりを聴き取っている。
【音楽的な感受や表現の工夫】

(2) 手だてを入れた指導・支援の構想

本時における生徒が主体的に学ぶ姿を、楽器の音色や踊りの特徴を感じ取り、バレエ音楽について自分なりの考えを記述している姿、考えた内容を生き生きと発表する姿をイメージしている。

本校の学習五訓「ベル席を守る」、「集中して聞く」、「自分で考える」、「進んで発表する」、「わかる、できる、認め合う」の中でも、本時では「自分で考える」＝与えられた視点をもとに、バレエ音楽の魅力を発表することに重点をおきたい。視覚教材を利用することで、よりバレエ音楽のイメージを具体的にもたせ、3つの視点について確実に思考する場を設定し、考えを交流させたい。そして、この活動で、「進んで発表する」ことや、「わかる、できる、認め合う」ことにつなげていきたい。

また、「集中して聞く」（聴く）ことは音楽科における課題解決、すなわち何かを知覚、感受し、そしてよりよい表現や鑑賞をするためには欠かせないことである。本時においてもその場面を量・質ともに吟味し、課題解決につなげていきたい。

(3) 具体的評価規準

観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への手だて	評価の方法
音楽への関心・意欲・態度	集中した様子で、バレエ音楽を鑑賞し、要素を感じ取りながら聴いている。	バレエ音楽を鑑賞し、要素を感じ取りながら聴いている。	興味を引き出せるように、曲についての説明を加える。	行動観察 学習シート
音楽的な感受や表現の工夫	音色、速度、強弱を知覚・感受し、全ての項目での記述がなされており、複数の記述がみられる項目がある。	音色、速度、強弱を知覚・感受し、全ての項目の記述がなされてある。	音色、速度、強弱を知覚・感受し、いずれかの項目について記述がなされてある。	学習シート

(4) 展開

段階	学習内容と 学習五訓	生徒の活動	指導・支援の方法、留意点
授業前	「 ベル席を守る 」		・映像機器の準備
導入 5分	1 学習課題の把握 「 集中して聞く 」	1 本時の学習課題について確認する。 『くるみ割り人形』を通して、バレエ音楽の魅力にせまろう	・紙板書によって提示する。
展開 30分	2 鑑賞 「 自分で考える 」 3 発表 「 進んで発表する 」 「 集中して聞く 」 4 鑑賞 「 集中して聞く 」 5 鑑賞 「 集中して聞く 」	2 二曲のバレエ音楽を鑑賞する。 ①の場面『トレパーク』 （ロシアの踊り） ②の場面『コーヒー』 （アラビアの踊り） 音色、速度、強弱の3点から気づいたことを発表する。またどのような振り付けがなされているかを想像しながら鑑賞する。 3 自分の考えを発表する。 4 映像を鑑賞し、自分の考えがどのように関連しているか考える。 5 再度音楽だけ聴き、特徴的な要素と曲想とが、どのように関連しているか考える。	・ここでは音楽のみ鑑賞する。 ・CD、DVDの準備 ・紙板書により、聴くポイントを提示する。 （音色、速度、強弱） 【音楽的な感受や表現の工夫】 ・ワークシートの準備 ・「感じシート」の準備 ・バレエの映像を鑑賞する。DVD ・再び音楽のみ鑑賞する。 【音楽的な感受や表現の工夫】
終末 15分	6 発表 「 進んで発表する 」 「 わかる、できる、認め合う 」 7 次時について	6 本時の学習内容を生かして鑑賞し、くるみ割り人形についての自分の考えを発表する。 7 『くるみ割り人形』のストーリーについて簡単に触れ、今後の学習内容について知る。	・鑑賞後の感想を発表させる。

(5) 評価

ア 音色、速度、強弱とバレエの振り付けの関係に関心を持ち、意欲的に鑑賞しているか。

【音楽への関心・意欲・態度】

イ 音色、速度、強弱と曲想とのかかわりを聴き取っているか。

【音楽的な感受や表現の工夫】

(6) 板書計画

学習課題

『くるみ割り人形』を通して、バレエ音楽の魅力にせまろう

聴き取るポイント

- ① 音色
- ② 速度
- ③ 強弱

トレパーク(ロシアの踊り)

コーヒー(アラビアの踊り)

【五線譜の黒板】

《感じシート》

学習課題

くるみ割り人形を通して、バレエ音楽の魅力にせまろう

〈1曲目() _____ の踊り〉

	音 色	速 度	強 弱	その他
自分の 考え				
なる ほど な点				

この曲を通して感じたこと

〈2曲目() _____ の踊り〉

	音 色	速 度	強 弱	その他
自分の 考え				
なる ほど な点				

この曲を通して感じたこと